

基本事業コード	14010001	担当課所名	市立病院管理課
<b>基本事業名 市立病院管理事業</b>			
総合振興計画 の位置づけ	分野	2	医療・福祉・保健
	政策	1	地域医療の充実
	施策	2	市立病院の充実
			総合振興計画 27 ページ

**基本事業の概要** 市立病院の施設設備、経営、人事管理を行うことにより、秩父地域の住民に対してより良い医療が提供できる環境をつくる。

**対象** 秩父地域の住民  
**意図** (施設整備、経営、人事管理を行うことにより、)より良い医療が提供できる環境を整備したい。  
(対象をどのようにしたいか)

基本事業指標	指標の算式	種類 単位	3年度	評価年度(4年度)		6年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
医業収益に対する職員給与費の割合	職員給与費/医業収益×100	成果指標 %	61.5	61.5	59.2	65.7	黒字同規模病院平均値: 65.7%(R3決算)
医業収益に対する医療材料費の割合	医療材料費/医業収益×100	成果指標 %	17.	17.	16.5	17.	同:17.6%(R3決算)
1床あたりの償却資産(建物)	(償却資産-減価償却累計額)/許可病床数	成果指標 千円	8,270.	14,332.	7,850.	14,332.	同:14,332千円(R3決算) ※近似値がよい
整備不良による年間医療機器事故件数		成果指標 件	0.	0.	0.	0.	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名	指 標			種類 単位	事務事業評価 6年度以降の 事業の方向性 コスト:成果	重点化
		3年度決算額	4年度決算額	5年度予算額			
01	市立病院内部管理事務	指標:医業収益に占める職員給与費の割合	61.5	59.2	成果指標 %	B	
		506,510,558	501,349,921	607,169,000		維持:拡充	
02	医療材料購入事務	指標:医業収益に占める医療材料費の割合	17.	16.5	成果指標 %	B	
		433,136,205	447,455,598	467,355,000		維持:拡充	
03	市立病院施設設備維持管理事業	指標:1床あたりの償却資産(建物)	14,332.	7,850.	成果指標 千円	B	○
		279,655,462	318,232,110	337,606,000		維持:拡充	
04	医療機器等整備事業	指標:整備不良による年間医療機器事故件数	0.	0.	成果指標 件	B	◎
		267,485,360	269,256,103	234,590,000		維持:拡充	
05		指標:					
06		指標:					
07		指標:					
08		指標:					
09		指標:					
10		指標:					
11		指標:					
12		指標:					
13		指標:					
14		指標:					

(参考) 最終予算額(円) 1,597,056,000 1,655,494,000

事業費の合計(円) (A) 1,486,787,585 1,536,293,732 1,646,720,000

財源内訳	国庫支出金	116,627,000	164,797,000	0
	県支出金	30,234,000	0	0
	地方債	9,700,000	35,600,000	13,700,000
	その他特定財	442,120,000	439,937,800	484,409,000
	一般財源	888,106,585	895,958,932	1,148,611,000

正規職員	業務量	173.23人	171.78人
	人件費(B)	1,374,998,936	1,459,204,738
会計年度任用職員 (事業費に含む)	業務量	45.00人	45.00人
	人件費	201,460,808	201,561,420

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 2,861,786,521 2,995,498,470

【重点化欄】

評価時点以降の事業の方向性から  
◎:特に重点化必要事業(1つ以内)  
○:重点化必要事業(1つ以内)  
△:劣後化可能事業(1つ以内)  
▲:特に劣後化可能事業(1つ以内)

成果の方向性	拡充	×	×	C,B	B,C	C
	維持	×	×	B	A	×
	縮小	×	×	C	×	×
	休廃止	×	D	×	×	×
	完了	D	×	×	×	×
		完了	皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性						

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 病院経営を人事管理、用度管理、施設管理の視点から指標を定め、黒字同規模病院の平均値を基に目標値を設定している。医業収益に対する職員給与費の割合は黒字同規模病院の平均値よりも良い結果となっているが、医療スタッフの確保が難しく定員を下回っていることも影響している。医業収益に対する医療材料費の割合はベンチマークの活用等により改善している。施設管理、医療機器等整備については、耐用年数や緊急性などから優先順位を適切に把握し、随時、更新や修繕を行っていく必要がある。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？(過不足がある場合は、改善提案に記載する。) 秩父地域の住民に対してより良い医療を提供できる環境をつくるためには、人事管理、施設管理、医療材料等の用度管理、医療機器等の管理など多岐にわたる事業を円滑に行い、経営の基盤が確立されている必要がある。いずれの事業も必要である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 市直営の病院であるが、秩父保健医療圏(1市4町)の二次救急医療体制を維持するため、民間の2病院とともに病院群輪番制の役割を担っている。また、地域に不足している医療や不採算部門の医療についても担っていく必要がある。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述</p> <p>枝番号04医療機器等整備事業を特に重点化する事業とした理由は、安心・安全な医療を提供するために老朽化した医療機器を定期的に更新する必要があるからである。令和5年度は生化学検査装置やベッドサイドモニタ等の更新を行い、令和6年度以降も耐用年数、使用頻度を考慮し、随時更新していく予定である。</p> <p>枝番号03市立病院施設設備維持管理事業を重点化する事業とした理由は、医療機器と同様に老朽化に伴い、修繕や設備の更新が必要となっているからである。令和5年度は吸引式冷温水発生機改修工事(繰越)、受水槽更新設計業務(繰越)、受変電設備改修工事を行う予定で、継続的に適正な維持管理に努めていく必要がある。</p>		
改善のため廃止する事務事業名	廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		3年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)
予算を伴わない短期的(1~2年)に取り組む改善提案	<p>医業収益を確保していくためにはマンパワーが必要であり、不足する医療スタッフの確保が最優先課題である。医師についてはちぶ医療協議会の総合診療専門医養成プログラムによる専攻医を確保し、看護師については引き続き随時募集による通年採用を実施し、ハローワークやホームページ上で募集するほか、専門学校、大学等にも周知することで人材確保を図る。また、離職者を減らす対策として、まずは問題点を整理していく。</p>	<p>コロナ禍による一部外来診療の制限や入院抑制により減少した収益を回復させるためには、通常の診療体制を再構築し収益を確保していく必要がある。そのためには不足する医療スタッフの確保が必要となるが、看護師については引き続き随時募集による通年採用を実施し、様々な方法で周知していく。</p> <p>人員不足を解消するため、随時募集による通年採用で人員を確保できた一方、同じ程度の離職者があり、定年退職者も含めると令和3年度と比較して医療職の増減はなかった。</p> <p style="text-align: right;">改善状況 △</p>
予算を伴う短期的(1~2年)に取り組む改善提案	<p>医業収益を確保していくためには医療機器等の医療資源を確保する必要があり、令和5年度は、生化学検査装置やベッドサイドモニタ等の医療機器の更新を行う。また、施設を適正に管理していくため、受変電設備改修工事など、老朽化した電気設備等の更新を行う。</p>	<p>コロナ禍においても安心・安全な医療が提供できるよう、デジタルX線透視診断装置や超音波診断装置等の医療機器の更新を行う。</p> <p>また、新型コロナ対策として、必要となる医療機器、消耗品等がある場合は国や県の補助金を活用して整備を行う。</p> <p>デジタルX線透視診断装置や超音波診断装置等の医療機器の更新を行った。また、国庫補助金を活用して、簡易陰圧装置の追加整備やPCR検査装置を購入し、新型コロナ対策の充実に図ることができた。</p> <p style="text-align: right;">改善状況 ○</p>
中長期的(3~5年)に取り組む改善提案	<p>将来にわたり地域に必要な医療体制を提供していくためには、令和5年度中に策定予定の「公立病院経営強化プラン」に基づき、経営基盤の強化を図る。</p>	<p>持続可能な医療を提供していくためには経営基盤の強化が必要ことから、市立病院中長期計画に基づき、「公立病院経営強化プラン」を令和5年度までに策定する。策定後は定めた目標を達成するために必要な事業を実施する。</p> <p>公立病院経営強化プランの令和5年度中の策定を目指し、策定に係る研修を受けるとともに情報収集を行った。</p>
行政改革大綱推進項目		
6-1-(3) 行政のデジタル化	デジタル化導入数	件数 0
		7-1-(1) 事務及び人事の効率化・適正化
		PPP・PFI・包括外部委託等導入数 0
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー		
市立病院の基盤である施設・設備・人員体制・経営が安定することで、住民が安心して医療を受けられる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	石野 雅禎	電話番号 0494-23-0611
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	14020001	担当課所名	市立病院医事課
<b>基本事業名 市立病院医事事業</b>			
総合振興計画	分野	2	医療・福祉・保健
	政策	1	地域医療の充実
	施策	2	市立病院の充実
			総合振興計画 27 ページ

基本事業の概要	良質な医療を効率的に提供する環境を整え、迅速な患者対応及び適切な医療に対する請求・収納を行う。
---------	---

対象	患者
意図 (対象をどのようにしたいか)	健康保持に必要な医療を安心して受けられるようにする。

基本事業指標	指標の算式	種類 単位	3年度	評価年度(4年度)		6年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
市立病院患者数	入院外来年間延べ 受け入れ患者数	成果指標 人	99,903	117,000	106,630	117,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名	指標			目標値(上段)	種類 単位	事務事業評価 6年度以降の 事業の方向性 コスト/成果	重点化	
		事業費(円)			実績値(下段)				
		3年度決算額	4年度決算額	5年度予算額					
01	医療情報システム維持管理事業	指標:待ち時間満足度	45,283,111	43,341,029	44,701,000	65	成果指標	B	
02	医療費請求・収納事業	指標:医療費査定率	77,847,876	76,373,344	87,057,000	64	%	維持:拡充	
		指標:				0.2	成果指標	B	◎
		指標:				0.13	%	維持:拡充	
03		指標:							
04		指標:							
05		指標:							
06		指標:							
07		指標:							
08		指標:							
09		指標:							
10		指標:							
11		指標:							
12		指標:							
13		指標:							
14		指標:							
(参考) 最終予算額(円)			127,659,000	121,772,000					
事業費の合計(円) (A)			123,130,987	119,714,373	131,758,000				
財源内訳	国庫支出金								
	県支出金		2,002,000						
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源		121,128,987	119,714,373	131,758,000				
	正規職員	業務量 人件費(B)	5.77人 33,483,223	6.22人 5,808,791					
	会計年度任用職員 (事業費に含む)	業務量 人件費							
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)			156,614,210	125,523,164					

【重点化欄】  
評価時点以降の事業の方向性から  
◎:特に重点化必要事業(1つ以内)  
○:重点化必要事業(1つ以内)  
△:劣後化可能事業(1つ以内)  
▲:特に劣後化可能事業(1つ以内)

成果の方向性	拡充	×	×	C,B	B,C	C
	維持	×	×	B	A	×
	縮小	×	×	C	×	×
	休廃止	×	D	×	×	×
	完了	D	×	×	×	×
完了		皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ この事業は地域の方々が健康保持に必要な医療を安心して受けられるようにするため、より多くの患者に利用していただけることを目標に掲げた。患者に安心安全な医療を実感していただくことで、受診者数を伸ばし、健全な運営を継続していけるよう、基本事業の意図として適切な指標であると考え。実績値については、目標値を達成できなかったが昨年度と比較して6%程受入患者数が増えている。令和5年5月9日で新型コロナウイルス感染症が5類相当に移行したことにより、受入者数が増えると思われる。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） 患者は納得のいく医療行為、迅速な対応、正確な医療費請求を望んでいる。医師が行った診療内容について、医療情報システムを利用し可能な限り短時間で算定を行い、待つことで更なる負担とならないよう努めることは重要である。また、病院事業においては医療費請求・収納業務は必須であり、適切な医療に対する費用の請求・収納を行い、請求した診療報酬を全て受領できることで安定した運営を継続し、患者に対して安全な医療を提供するために重要な業務である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間（市民、企業、NPO）との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 地域の中核となる公立病院として安定した運営のために業務を実施していくのは当然必要と考える。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 二次救急輪番日の増加に伴い救急受入数の増加が見込まれ、保険証の不提示や交通事故などの受診が増えることにより、未収金の増加が懸念される。また、新型コロナウイルス感染症の不安により、外来・入院患者数が減少する中で、医業収益の安定的な確保のためには、限られた診療報酬を確実に請求・収納する必要があり、今後も重点的に取り組むべきであると考え。</p>		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)	3年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)	
<p>予算を伴わない 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案</p> <p>新型コロナウイルス感染症の不安により、外来・入院患者数が減少している。保険診療の査定・返戻の状況を精査することにより、患者数の減少による医業収益の縮小をできる限り抑制する。</p>	<p>2022年度は診療報酬改定の年である。診療報酬の算定について、事務局だけでなく、医師や看護師、コメディカル等も含めた院内多職種の職員同士で情報共有を図ることで、本来算定できるはずの診療報酬の算定漏れ等をなくし、医業収益の増加につなげていくことが喫緊の課題となる。</p> <p>事務局だけでなく、医師や看護師、コメディカル等も含めた院内多職種の職員同士で情報共有を図ることができた。今後は今回改正となった事項を滞りなく実施し、診療報酬の算定漏れ等をなくし、医業収益の増加につなげていく。</p> <p style="text-align: right;">改善 状況 ○</p>	
<p>予算を伴う 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案</p> <p>医療情報システムと連動する周辺機器が、導入より期間が経過して老朽化しているため、新しい機器に更新し、患者案内や会計管理業務の安定した継続を図る。</p>	<p>院内情報系のネットワーク機器の更改を行い、インターネットを使用する環境のセキュリティ向上を図る。 また、院内情報系のサーバについても更改の時期が迫っているため、予算要求に向けて次期サーバの仕様検討し、費用対効果を考慮した最適な院内情報システムの構築を目指す。 院内情報系における保守の終了したネットワーク機器を更改し、インターネットを使用する環境でのセキュリティ確保ができた。 院内情報系のサーバについては保守の延長が可能であったため、現状のものを使用することとした。</p> <p style="text-align: right;">改善 状況 △</p>	
<p>中長期的(3~5年)に 取り組む改善提案</p>		
行政改革大綱推進項目		
6-1-(3) 行政のデジタル化	デジタル化導入数	件数 0
	7-1-(1) 事務及び人事の効率化・適正化	件数 0
PPP・PFI・包括外部委託等導入数		
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 診療部門と医事部門の連絡・調整がスムーズに図られることで、待ち時間の短縮や医療費請求が適切に行われる。患者サービスが向上し安心・安全な医療の提供に繋がる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	石間戸 美佐	電話番号 0494-23-0611
----------------------	--------	----------------------

基本事業コード	14030001	担当課所名	市立病院診療所事務局
<b>基本事業名 大滝国保診療所管理運営事業</b>			
総合振興計画	分野	2	医療・福祉・保健
	政策	1	地域医療の充実
	施策	2	市立病院の充実
			総合振興計画 27 ページ

**基本事業の概要**  
 所内施設の維持管理及び医療機器の更新等計画的に実施して、診断水準の向上を図りより良い医療、看護が提供できる環境を整備すると共に診療内容について患者のニーズや費用対効果等に見合う事業の実施に努める。

**対象** 診療所利用患者  
**意図** (対象をどのようにしたいか) より良い医療と看護を提供し、疾病を治癒して健康への快復を図る。

基本事業指標	指標の算式	種類 単位	3年度	評価年度(4年度)		6年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
大滝診療所患者数		成果指標 人	2,715	—	2,647	—	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名	指 標			目標値(上段)	種類 単位	事務事業評価 6年度以降の 事業の方向性 コスト:成果	重点化	
		3年度決算額	4年度決算額	5年度予算額	実績値(下段)				
01	内科診療事業	指標:内科患者数	844,832	584,880	914,000	2,518	人	維持:維持	
02	診療所施設整備・維持管理事業	指標:診療所利用患者数	14,125,687	19,130,448	28,417,000	2,647	人	維持:拡充	◎
03	医療材料購入事業	指標:医療収益に占める材料費の割合	13,440,654	12,324,679	24,000,000	47	%	維持:維持	
04	医療機器等整備事業	指標:年間医療事故数	765,732	3,817,000	3,857,000	0	件	維持:維持	
05	送迎車運行事業	指標:年間送迎車利用者数	2,182,244	1,881,607	2,402,000	680	人	維持:維持	
06	歯科診療事業	指標:歯科診療患者数	2,302,244	2,145,512	2,738,000	129	人	維持:維持	
07		指標:							
08		指標:							
09		指標:							
10		指標:							
11		指標:							
12		指標:							
13		指標:							
14		指標:							

(参考) 最終予算額(円)		63,244,000	68,095,000
事業費の合計(円) (A)		33,661,393	39,884,126
財源内訳	国庫支出金	13,691,000	13,704,000
	県支出金	8,012,000	8,179,500
	地方債		
	その他特定財源		
一般財源	11,958,393	18,000,626	
正規職員	業務量	4.90人	4.40人
	人件費(B)	28,434,627	25,558,681
会計年度任用職員(事業費に含む)	業務量	2.71人	3.40人
	人件費	7,583,152	9,443,993
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		62,096,020	65,442,807

**【重点化欄】**  
 評価時点以降の事業の方向性から  
 ◎: 特に重点化必要事業(1つ以内)  
 ○: 重点化必要事業(1つ以内)  
 △: 劣後化可能事業(1つ以内)  
 ▲: 特に劣後化可能事業(1つ以内)

成果の方向性	拡充	維持	縮小	休廃止	完了	C,B	B,C	C
完了	×	×	×	×	D	×	×	×
皆減	×	×	×	×		×	×	×
縮小	×	×	×	×		×	×	×
維持	×	×	×	×		×	×	×
拡大	×	×	×	×		×	×	×

コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 大滝管内の平成30年から令和4年までの5年間の人口減少率は20%となっており、それに比例し診療所の患者数も同率で減少している。今後も継続的に減少することが想定されるが、大滝地域の住民が安心して診療を受け、健康的な生活を維持していくためには、地域唯一の医療機関である診療所の継続が必要である。しかし、財政面では一般財源からの繰入金が多いこともあり、繰入金額の減少を図ることも重要であるため、地域住民の利便性等に配慮し、患者数の減少を抑えることも必要であることから、目標としては適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） 地域住民が安心して医療サービスが受けられるよう、診療施設及び医療機器の整備をはじめとする環境整備や、患者送迎車及び住診用自動車の適正管理・運行による地域住民の利便性を図ることは重要であり、大滝地域の医療体制を維持するには、事務事業として妥当である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間（市民、企業、NPO）との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 過疎化、高齢化が著しい大滝地域において、唯一の医療機関である診療所は、住民福祉の観点から市が運営することが妥当であると考えられる。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 02診療所施設整備・維持管理事業において、大滝総合支所への移転計画により、令和5年度末に移転完了予定となっていることから、現診療所での安全な診療環境を維持しながら、移転に向けた作業が安全かつ円滑に行えるよう最重点とする。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		3年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)
予算を伴わない 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案	看護業務をはじめ各種作業・業務のマニュアル化と、看護日誌・朝の打合せ等を利用した情報共有による職員の連携体制強化し、安定的な医療サービスの提供を長期にわたり確保できるよう改善する。	
予算を伴う 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案	診療所機能を大滝総合支所施設内へ移転し、市民の利便性を高めるとともに、総合支所施設の空きスペースを有効活用する。	診療所内の空調設備の故障により、数か所の冷房機が作動しにくい状態にあるが、診察への影響が大きい内科診察室については修繕にて対応する。他については、送風機にて対応する。 内科診療室内の冷房機の修繕工事により、室内空調は適切に保たれ、快適な診療環境が保たれた。送風機は予算不足のため購入できなかったが、窓を開けるなどで対応した。
中長期的(3～5年)に 取り組む改善提案		
行政改革大綱推進項目		
6-1-(3) 行政のデジタル化	デジタル化導入数	件数 0
	7-1-(1) 事務及び人事の効率化・適正化	件数 0
PPP・PFI・包括外部委託等導入数		
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 安全な診療環境を維持し、地域の医療提供体制を確保する。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	金子 伸江	電話番号 0494-55-0341
----------------------	-------	----------------------